

◎待機児童解消対策への取り組みは

**問** 袋井市乳幼児保育需要調査結果に基づいた、待機児童対策の課題は何か。

**答** 調査結果から、潜在的な保育需要を含め、公的保育を求める児童の割合は、乳幼児数の約4割に達している。低年齢児の保育受け入れ枠の拡大が、喫緊の課題であると考えられる。

**問** 今後の幼児保育における施策方針は。

**答** 国の子ども・子育て新システム検討会の動向を見据え、本市の乳幼児人口の推移と保育需要調査の結果を分析したい。また、望ましい保育のあり方を検討するため、外部委員も交え、(仮称)乳幼児保育一元化あり方検討会を立ち上げ、中長期的な保育施策の方向性を見出していきたい。

◎物流産業の一大拠点づくりに向けて

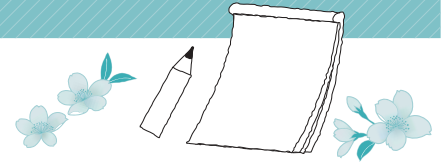
**問** 物流施策を総合的・計画的に推進するため、官民協働で総合効率化計画の策定に取り組む考えはあるか。

**答** 本市のさらなる振興、発展を図るためには、官民が協働して、振興プランを検討することは大変有意義である。商工会議所とも連携し、準備していきたい。



4月から開園した愛野こども園

## 常任委員会レポート



平成22年度一般会計・特別会計補正予算、平成23年度一般会計・特別会計・企業会計の各予算や条例の制定・一部改正などの議案を各常任委員会で審査しました。

### 総務文教委員会

**Q** 河川観測用の水位計を村松、小川町、新池、諸井の4箇所に設置するとのことだが、この水位計には、どのような機能や効果があるのか。

**A** 橋の欄干へ電波を送信する機械を設置して、その電波のはね返し信号で、水位を観測するものである。そのデータを集計することで、避難指示や避難勧告を出す時の判断材料とするとともに、ホームページへ公開し、いち早く情報を伝達することを考えている。

**Q** 塩尻市と姉妹都市提携を行ったが、ふくろい遠州の花火などの活用により、効果的な交流が期待される。平成23年度は、どのように取り組むのか。

**A** 「木曾漆器祭」や「食と環境のフェア」の参加者を市民公募する予定であり、参加者には、あわせて市のPRもしていただくことも検討している。

また、両市の特産物を製品の材料に利用したり、給食にお互いのメニューを取り入れるなど、人の交流だけでなく、食の交流もできるよう考えている。

ふくろい遠州の花火に、塩尻市の市民を招待できるように検討していきたい。



ふくろい遠州の花火